



【社会】
【教育】 8/1 発売予定

FAX03-3518-4944

配本申込み切7月3日

国内外の統計データを解析すると、日本の教育の病理が浮かび上がる。

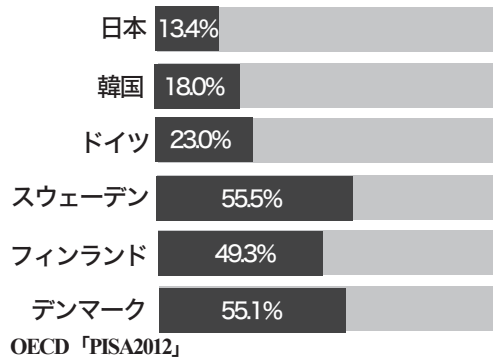
データで読む 教育の論点

舞田俊彦 著 四六判並製・400頁 予価1800円+税
(教育社会学者) ISBN: 978-4-7949-7032-9



Q パソコンは幼い時から使ったほうが
学力は伸びるのか?

初めてパソコンを使ったのは何歳?
※6歳以下を表記。世界の15歳生徒の回答



A: パソコンの使用開始年齢が早い群ほど、数学的・読解力・問題解決能力が高い結果がでています。

日経 DUAL、プレジデントオンライン、
ニュースウィークなどで大評判!

統計データを駆使した日本社会の問題の「見える化」でいま注目!
若手・教育社会学者初の一般向け書籍。

保育所が少ない地域では虐待相談率が高い?
東大生の家庭の年収分布は富裕層に著しく偏っている?
若年男性の年収別の未婚率を見ると、低収入の層ほど未婚率が高い?



幼少期のコンピュータ利用と学力の関連/就学前教育と学力・体力の相関/貧困といじめ被害・不登校の関連/
10代のスマホ・パソコン所持の日米比較/文系と理系の年収比較/都道府県別の教員の病気離職率/
若者の「恋人なし」率の国際比較/子どもの政治的関心の階層差/など興味深い分析の数々。

見たくない現実も、データを見れば一目瞭然。
日本の教育の不都合な真実が、5つの分野の統計データから浮かび上がる。
(子ども・家庭・学校・若者・社会)

◆目次①子ども: 子どもの学力/逸脱 ②家庭: 家庭環境/保育/受験 ③学校: 教育機会/教育課程/進路/
教員④若者: 就労/結婚/意識 ⑤社会: 学歴社会/格差社会

●著者プロフィール 舞田敏彦(まいた・としひこ)

1976年生まれ。教育社会学者。東京学芸大学大学院博士課程修了。博士(教育学)。専攻は教育社会学、社会病理学、社会統計学。
著書に『教育の使命と実態: データからみた教育社会学試論』『47都道府県の子どもたち—あなたの県の子どもを診断する』『47都道府県の青年たち—わが県の明日を担う青年のすがた』(共に武蔵野大学出版会)など。

| | | | | | |
|--------|--------|------|---|---|------|
| 晶文社注文書 | 取次・貴店印 | 新刊委託 | パブ情報: 日経・毎日全五段、他予定 データで読む教育の論点 【社会・教育】四六判並製・400頁 予価: 本体1800円+税 ISBN978-4-7949-7032-9 C0036 8月1日発売予定 舞田俊彦 著 | | 申込部数 |
| | ご担当 様 | | 既刊 | 転換期を生きるきみたちへ 重版出来! 好評4刷 内田樹編 定価: 本体1400円+税 ISBN978-4-7949-6825-8 C0095 | 冊 |

晶文社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11 TEL 03-3518-4940 http://www.shobunsha.co.jp

※常時入帖しますので、長期間の陳列をお願い致します。【晶文社営業部: 川上・片桐・亀井・福士・後藤・松崎・長田】